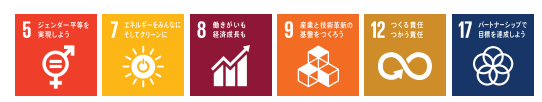


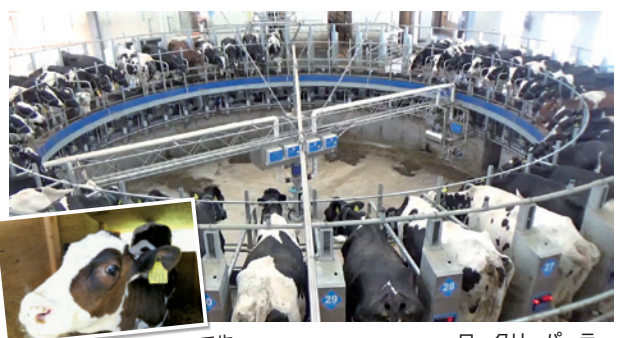
笑顔あふれる未来のために



組合員さんの暮らしに役立つ事業と活動の担い手としての人材確保と育成は、重要です。人づくり・働きがいのある職場づくり・安心して働ける職場環境・業務の効率化に取り組むことは、笑顔あふれる未来につながります。また組合員さんの暮らしを支える食の生産現場に関わってこうとチャレンジしています。鳥取県生協・鳥取県畜産農協・行政などと共に設立した酪農メガファーム「みんなの牧場」と、農福連携の子会社として設立した「株式会社ハートコープしが」です。持続可能な社会に向けて、組合員・役職員・生産者、地域の人たちと共にすすめています。

みんなの牧場

日本の酪農が衰退の一途をたどる中、私たちの食を支える産直の牛乳や牛肉の生産現場を維持するために国の政策を利用して、生産者・行政・飼料関係者・生協が共に作った牧場です。良質な牛乳の確保・安い和牛の提供・機械化による合理化をめざしています。現在、約400頭の搾乳牛から毎日11トンの質の良い牛乳が生産され、コープしがの生協牛乳120として組合員に届いています。



みんなの牧場生まれの1号牛 ロータリーパーラー

ハートコープしが



コープしがと生産者が出資して設立した障がいのある方の働く場づくりを目的とした会社で、食品リサイクルや資源循環を農福連携で取り組んでいます。リサイクル・クリーン部門では、オリコン洗浄やリサイクル品の加工、食品残さからの堆肥製造などを行います。製造された堆肥は、農業部門となるハウスにまかれ、小松菜などを栽培します。

リサイクル部門

組合員から集めたリサイクル品を分別・資源化しています。



廃棄シッパーを減容し資源化

もりのこ保育園

働き続けられる組織づくりと地域の待機児童の減少をめざして、2018年7月に開園しました。職員のお子さんと地域のお子さんあわせて11名が元気に登園しています。



農業部門

各店舗や青果加工センターから出る野菜くずを堆肥に。できあがった堆肥を使って野菜（小松菜）を生産しています。2019年秋頃には、供給される予定です。



働きがいのある職場づくり

職員が関わり合い学び合う組織風土づくり

● 実践事例報告会

年に1度全役職員が集まり（店舗職員は別日）、組合員さんとの関わりの中で気がついたことお役に立てた事例を報告し共有しています。



● コープしがカレッジ

協同組合に関わる人として、その役割を果たすことを目的に「人」や「コト」から学び、ものの見方や考え方を広げます。また、誰でも気軽に学び、元になれる場として開講しています。



みんなが働きやすい雇用形態づくり



年齢・暮らしの事情・働きかたのニーズなど、可能な限り1人ひとりの職員によりそって、長く働き続けられるための雇用制度に見直しました。専属社員（フルタイム・非正規雇用）を廃止し、正規雇用にしました。

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気良く挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の傷みがわかる心もち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識をもち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します

職員の声

学んだことを次世代に伝えることが大切

自分が指導する側になり、その責任は非常に重いものだ学びました。相手に寄り添うことで、どのような指導が必要なのか見えてきます。これからも先輩から受け取った思いやりのバトンを後輩へつないでいきたいです。

中央大津センター組合員担当 浅井 遥太さん



後輩の清上さんと（左：浅井さん）